

麻疹風疹混合ワクチンを 受けましょう



米の山病院小児科部長 田島重吉

麻疹（はしか）・風疹（三日はしか）が流行

2007年春に、都心部の大学生を中心に麻疹が流行しましたが、今年の春もまた、高校生・大学生を中心に麻疹が流行し、熊本や荒尾でも休校になった学校がありました。

麻疹の症状と経過

発熱・せき・鼻水・眼やに等のカゼ症状が3～4日続き、その後発疹が出てきます。熱は発疹が出て3～4日して下がります。

熱が3～4日続いて、発疹が出る前に、口に中にコプリック斑という、はしか特有の発疹が出ます。

高熱が7～8日続き、咳き込みもひどく、下痢もしやすいので、消化に良いものを与えて脱水には注意してください。

* 2～3人に1人は入院しています。



麻疹風疹混合ワクチンは2回接種を

麻疹予防注射を1回のみしているだけでは、中学生・高校生・大学生になって免疫効果が落ちるため、麻疹にかかってしまうことがはっきりしました。

2008年4月から、中学1年生と高校3年生を対象に麻疹風疹混合ワクチンによる追加接種がはじまりました。麻疹風疹混合ワクチンを2回接種することで、麻疹にかからないですみます。

1歳～2歳未満の子どもさん、就学1年前の子どもさん、中学1年生、高校3年生の方は、早めに近くの医院で予防接種を受けてください。

1. 麻疹風疹混合ワクチン1期・2期の公費接種（2006年度から）
1歳～2歳未満で1期接種
小学就学1年前の小児を対象に2期を追加接種
2. 麻疹風疹混合ワクチン3期・4期の公費接種（2008年度～2012年度）
中学1年と高校3年を対象に実施。